

対面授業の実施にあたっての 新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト（教員用）

学内の感染拡大の防止と学生の学習機会の確保を両立するために、教員の皆様には、以下の感染予防対策を徹底して下さるようお願いいたします。

- 風邪様症状の疑われる場合や体調不良の時は、休講にする。

出講日は必ず体温測定をし、各自の健康状態を把握してください。

出講日に、発熱、あるいは鼻水・咽頭痛・くしゃみ・咳・痰や倦怠感・嗅覚・味覚障害・息切れ等の体調不良がある場合は、授業を休講としてください。

研究講義棟に入る際にサーモセンサーで体温測定を行ってください。発熱している場合は、保健管理センターへ行ってください。

- 構内では症状の有無に関わらず、マスクを着用する。授業中も同様。

マウスガードは配布します。必要に応じ使用ください。

- 授業ごとに毎回、出席学生のリストを作成する。オフィスアワーも同様。

学生には、体調不良の際、自宅に留まるよう指示しています。また大学に登校後に発熱症状が確認された場合には、帰宅を命じています。この点を踏まえて、出席管理を柔軟に行っていただくようお願いします。

- ホワイトボード水性ペン等は配布される個人専用分を持参する。

- 教室での配布物は入口等に置き、受講者自身がとる形にする。

- 教員と学生の間、また学生間に十分な距離の確保に努める。

- 教室内の換気を適切に行う。

ドアおよび窓は2方向で空気の流れを作り、適切（30分に1回以上）に換気が必要です。

- 授業の前後には流水と石鹸による手洗いや、手指消毒を徹底する。

- 感染拡大防止のためにスマホへの新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAの導入を推奨します。

本学のHP『【まとめ】新型コロナウイルスへの対応について』内にも『対面授業実施にあたっての感染拡大防止対応』<http://www.tufs.ac.jp/NEWS/important/202001virus.html> に詳細を記載しておりますので、ご確認ください。

体調管理チェックシート

2020/21 年__月

毎日体温測定をして、該当する症状等があれば、✓をつけて下さい。

所属								氏名：	
日	体温	鼻水	咽頭痛	咳	痰	倦怠感	息切れ	味・嗅覚異常	その他コメント
例	36.4			✓		✓			
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									

* ご自身の体調管理にお役立てください。このシートを提出する必要はありません。